

別紙標準様式（第6条関係）

会 議 録

会議の名称	第4回 枚方市自殺対策計画審議会	
開催日時	令和6年1月17日（水）	開始時刻 14時 00分 終了時刻 14時 30分
開催場所	枚方市役所別館 第4委員会室	
出席者	会長：野田委員、副会長：小久保委員、 委員：上羽委員、千原委員、古川委員、登委員、中島委員、 出倉委員、古満委員、竹内委員	
欠席者	田代委員、多田委員、高田委員	
案 件 名	1. 自殺対策計画「枚方市いのち支える行動計画」案について	
提出された資料等の名称	資料1：第2期「枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画）」【素案】に対する市民意見募集の結果 資料2：第2期「枚方市いのち支える行動計画」（自殺対策計画）（案）	
決 定 事 項	審議内容の計画への反映については、会長に一任のうえ、審議会終了後、会長より市長へ答申する。	
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開	
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表	
傍聴者の数	なし	
所管部署（事務局）	枚方市保健所 保健医療課	

審 議 内 容	
会 長	<p>定刻となりましたので、第4回枚方市自殺対策計画審議会を始めさせていただきます。</p> <p>皆様方には大変お忙しい中、本会議へのご出席、誠にありがとうございます。</p> <p>まず初めに、事務局から本日の委員の出席状況と傍聴人について、報告をお願いします。</p>
事 務 局	<p>本日の委員の出席状況について報告いたします。委員13名中10名に出席いただいておりますので、枚方市附属機関条例第5条第3項の規定に基づき、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>次に、傍聴希望者について報告いたします。本日の傍聴希望者はございません。</p> <p>また、本日は対面とWEBでのハイブリッド会議での実施となりますので、会議に先立ちまして、いくつかお願いがございます。</p>
会 長	<p style="text-align: center;"><b>【WEB会議の注意点の説明】</b></p> <p>第4回審議会は最後の審議会となります。本日皆様にごいただいたご意見をまとめまして、審議会終了後に市長へ答申を行います。本日も活発な意見交換をよろしくお願いいたします。</p> <p>案件1「枚方市いのち支える行動計画」（自殺対策計画）案について事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p style="text-align: center;"><b>【資料の説明】</b></p>
会 長	<p>ただいまの説明にご意見、ご質問ありませんでしょうか。市民意見聴取にかかる回答については事務局の案でよろしいでしょうか。</p>
会 長	<p style="text-align: center;"><b>【一同承認】</b></p> <p>では、本日が最後の審議会となりますので、審議委員の皆様お一人ずつ、枚方市いのち支える行動計画（自殺対策計画）に関して、または自殺対策の推進等につきましてのご意見や審議</p>

<p>上羽委員</p>	<p>会にご出席いただいた感想等をお聞きしたいと思います。</p> <p>薬局に勤める者の立場から市民にどんなお手伝いができるか考えながら出席していました。薬を渡す時に自殺企図や自殺念慮が出る副作用の説明をしているのかという部分ですが、個々の患者に合う説明を薬剤師が判断して、全ての人に説明している訳ではないと思いますが、リスクがある人には説明しています。参加したことで声を上げにくい人がいるという話についても、生（なま）の話聞く機会を得ることができ、勉強になりました。</p>
<p>古川委員</p>	<p>重い内容でしたが、ふきのとうの会の話聞く機会を得たことで貴重な経験になりました。小学生、中学生ともに、いじめや不登校など多岐にわたる課題があり、その先に自傷行為、自死につながるので、危機感を持って会議に参加いたしました。教員には SOS を感じ取れるように、子ども達には SOS の出し方の教育に取り組んでいきたいと思っています。</p>
<p>中島委員</p>	<p>今回の内容は子ども、学校での支援が多かったと思いますが、年齢に関係なく大きく対策を講じる必要があると思います。ハローワーク（労働）の立場でできることを支援していきたいと考えます。参加したことでどういう対策をしているのかわかりました。</p>
<p>出倉委員</p>	<p>民生委員としては、高齢者への接点が多い中、配偶者を亡くした後、精神的に不安定となって亡くなった事例を持っています。予兆もなく突然のことでした。高齢者では、ある程度の年齢になれば配偶者を亡くす人も多く、そのような中で配偶者を亡くした後の対応を、民生委員としても勉強していく必要がある事を感じました。</p>
<p>古満委員</p>	<p>様々な専門分野の委員の人の話を聞く貴重な機会でした。社会福祉協議会としては職員が地域に根差して頑張っています。最近、地震がありましたが、性別、年齢に関係なく、いつでもだれでも追いつめられる状況になるかもしれません。職員一同、気を引き締めてスキルアップして対応していきたいと思っています。</p>

竹内委員	<p>人権擁護委員は人権を守るとともに命を守る大切な仕事です。LINE 相談、法務局での相談、枚方市広聴相談課での相談などで、追いつめられた人の相談も対応することがあります。様々な話に対応できるスキルを学ぶため、2月にゲートキーパーの研修を受けます。一人でも多くの方が悩みから脱却し、適切に対応できるようにしていきたいと思います。みなさんから各分野の意見を聞いて参考になりました。他の人権擁護委員にも伝えて適切なアドバイスが出来るように頑張ります。</p>
登委員	<p>高校に勤務していて自殺願望を持つ高校生は少なからずいます。審議会に参加して枚方市の様々な関係機関を知ることができたので、高校生からゆっくり話を聞いて、卒業後に枚方市の機関に繋がっていきけるよう啓発いたします。</p>
千原委員	<p>小学校長会代表として参加しました。教職員も辛い気持ちになる子どもが少なくなるように取り組んでいるものの、限界を感じる実情の中で、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携の大切さを実感しています。学校の専門家の配置がさらに充実していくのを切に望んでいます。審議会への参加でさまざまな立場の人と意見交流できたことで、今後に活かします。</p>
副会長	<p>委員の皆様の積極的な意見がたいへん参考になりました。当事者や当事者に近い立場の人の話を直接聞いて、計画に反映させたところは独自性があると思いますし、大切な視点だと感じました。弁護士として生活困窮者の法律相談に携り、時を経るにつれ、相談が増えてきている印象を受けており、中間層の人々も様々なことで窮地に陥っています。背景に失業等の労働問題もありますが、精神疾患や障害等の課題が複合的にあります。多機関が連携して支援するのが大切だと思います。計画の中で生活困窮者の支援、生活保護制度、自殺対策と連携強化が実現されることを望みます。</p>
会長	<p>1年間、委員の皆様には活発な意見をいただき、事務局には労を厭わず計画書を作っていただきました。各立場からの意見が勉強になりました。個人としては、自殺対策には2002年から関わっていますが、1998年に自殺者数が一気に2万人から3万人へと増えてしまいました。近年、数字は下がってきていまし</p>

	<p>たが、コロナで女性、子ども、若年層が増えてきました。子どもたちを守る学校教員の負担、苦勞になると思いますが、引き続き頑張ってくださいたいです。学校の先生のメンタルヘルスもたいへんになり、震災を経験すると、行政、保健関係等の現場の皆様もたいへんとなります。コロナは5類になりましたが状況は変わっておらず、2類のときに苦勞した人たちが今も辛い思いをしているのではないのでしょうか。相談が増えてきているのは心の傷が簡単には回復できていないからだと思います。枚方市での取り組みを引き続き応援いたします。いろいろな立場の人の意見を聞き、自分に何ができるかを確認して計画を推進できると思いました。心から感謝いたします。みなさんから頂いた意見を含めて、答申を行いたいと思います。</p> <p>それでは事務局から今後のスケジュールの説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【今後のスケジュールの説明】</b></p>
会長	<p>審議会の案件は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは、会長、副会長の任を解いて司会を事務局にお渡しします。</p>
事務局	<p>事務局を代表して所長より挨拶をさせていただきます。</p> <p><b>【所長挨拶】</b></p>
事務局	<p>これで枚方市自殺対策計画審議会を終了します。長期間、ご協力ありがとうございました。</p>